

新たなまちづくりの方向性を示す

『未来につなぐ魅力創造予算』

過去最大の積極予算規模

670.2億円

新型コロナウイルス感染症への
緊急対応

約16.4億円

- ① 感染拡大の防止
- ② 市民生活の支援
- ③ 事業者への支援
- ④ ICT技術を活用した新しいサービスの提供



第6次総合計画の着実な推進

約106.9億円

3つの重点施策

- ① WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心
 - ② みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会
 - ③ 活力あふれる産業振興と未来への投資
- まちづくりの土台となる取組の推進
- ① 市民等との連携・協働
 - ② 加速するデジタル社会への対応
 - ③ 持続可能な行財政運営に向けた取組等



3月定例会 代表質問



うじ未来会派を代表して松峯議員が代表質問!

市長の目指される都市像『一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治』の実現に向け、先頭に立って頑張っていたきたい。我々も市民が主役のまちづくりを目指し、市長と議論を重ねながら、同じ目標をもって取り組んでいく。



Q1 令和4年度予算(案)

人口減少・少子高齢化社会の進行や新型コロナの影響が長期化する中、持続可能な財政運営実現のため、今後の財政健全化の取り組みは?

市長 答弁 職員定数や給与等の適正化の推進で、人件費を抑制。計画的な予防保全で公共施設の長寿命化に取り組み長期的な施設の維持管理コストを円る。

Q2 新型コロナウイルス感染症対策

ステルスオミクロン株(BA2)に対する第7波への対応が必要では?

市長 答弁 ワクチン3回目接種の速やかな実施や、福祉施設等の集団感染の未然防止、感染防止用備品の購入支援、ICT技術を活用した新しいサービスの提供に取り組む。

Q3 令和4年度組織機構改革

施策推進のため、組織のマネジメント力の強化や、組織の枠組みを超えた推進体制、各部を指揮・統率する2人目の副市長が必要では?

市長 答弁 市民協働、乳幼児教育・保育、企業立地など、関連する部署が部局横断的組織としてプロジェクトチームを設置、組織間の連携を強化し着実に取り組む。2人目の副市長については現在熟慮している。

Q4 宇治市のまちづくり

多世代が集い、交流できる複合・多機能型の公共施設が必要では?

市長 答弁 市民参画・協働の市民活動拠点として、中宇治地域の公共施設を全市的な公共施設の将来像の具体的な先行例として取り組む。

中学校給食について令和5年度の実施が困難な状況となり、令和8年度の早期実施を目指すことになったのは何故か?

市長 答弁 国有地の旧宇治少年院跡地が最有力候補地となり、法務省との調整のため時間を要した。敷地の形状による造成、センター整備に要する期間などを踏まえ、令和8年度の早期実施を目指す。



3月 定例会 一般質問

人口転出超過の現状を改善するために、子育て世代に訴求する総合的な政策の実施や戦略的な広報が重要

若者の働く場を確保し、戦略的な産業振興によって、市外から人の流れを呼び込み、市内経済が活性化していき取り組みを進めるとともに、切れ目のない子育て・子育て環境の充実、雇用から子育て支援や教育に至るまで、くらしやイベントに関する情報など戦略的かつ積極的に発信していく。



角谷 陽平 議員

令和4年度 予算特別委員会

岡本議員が副委員長に就任!



松峯・今川・西川が委員として予算審議



詳しい内容は次号に掲載します。

4常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防などを担当



服部 正

令和4年度組織機構改革について

組織横断的に取り組む施策について、これまで以上に組織間の連携を強化して効果的、効率的に推進するため、プロジェクトチームを設置する。

現時点で設置予定のプロジェクトチーム(PT)

- ①市民協働推進PT
- ②乳幼児教育・保育推進PT
- ③企業立地推進PT
- ④脱炭素推進PT
- ⑤子育てにやさしいまち実現PT
- ⑥天ヶ瀬かわまちづくり推進PT
- ⑦空き家対策推進PT

文教・福祉 常任委員会

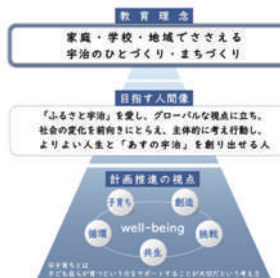
教育、福祉などを担当



西川 友康

角谷 陽平

第2次宇治市教育振興基本計画(最終案)について



先進的な教育環境の充実を図り、地域コミュニティが一体となり、協働による絆をいっそう深める。未来社会と明日の宇治、日本そして、世界を切り拓く市民が育つ本市独自の教育を進めていく。

市民・環境 常任委員会

観光、自治、ゴミ収集、農業委員会などを担当



松峯 茂

岡本 里美

宇治市産業戦略(改訂版)最終案について

産業戦略の目標として、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、多様な働く場を創出することにより、定住人口を確保し、市民の豊かな暮らしを実現する。

- ①市内産業の進化・発展 “U” (Upgrade)
- ②交流・連携の強化 “J” (Join)
- ③新たな産業の創出 “I” (Innovation)



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



真田 敦史

今川 美也

近鉄小倉駅周辺地区 まちづくり基本構想(案)について

近鉄小倉駅周辺地区は住環境の改善や商業の活性化、また駅前広場の設置や地下通路のバリアフリー化など日常生活に直結する課題に加え、防災機能の強化など多くの課題があり、これらに対し将来のあるべき姿を見据えたまちづくりを検討する。



うじ未来 議員紹介

- 松峯 茂** 【まつみね しげる】 ● 監査委員 ● 市民環境常任委員会委員 ● うじ未来 団長 ● 議会運営委員会委員 ● 城南衛生管理組合議会議員
- 真田 敦史** 【さなだ あつし】 ● 議会運営委員会委員長 ● 建設水道常任委員会委員 ● 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
- 服部 正** 【はっとり ただし】 ● 広報委員会委員長 ● 総務常任委員会委員 ● うじ未来 幹事

- 今川 美也** 【いまがわ みや】 ● 建設水道常任委員会副委員長
- 岡本 里美** 【おかもと さとみ】 ● 市民環境常任委員会副委員長 ● 城南衛生管理組合議会議員
- 西川 友康** 【にしかわ ともやす】 ● 文教福祉常任委員会副委員長
- 角谷 陽平** 【かどや ようへい】 ● 文教福祉常任委員会委員 ● 広報委員会委員